

公共建築月間 中国5県共同開催イベント

open house TOTTORI

普段ご覧いただきにくい県庁の免震ピットや知事公邸の内部をご案内します。

■開催日時 2016.11.5 (土) 10:00-12:00

■集合場所 県庁講堂

※申し込みは不要です。当日9:50までにお集まりください。

「11月1日」は公共建築の日、「11月」は公共建築月間です。

県庁舎を始め公共建築は、行政、教育・文化、福祉など様々な分野において地域の人々の生活に密接な関わりを持ち、地域の活性化、生活・文化水準の向上、良好な街並み・景観の形成等を図るうえで重要な役割を果たしています。

また近年、地域との連携を図りながら、公共建築の整備や運営のあり方を考えようという気運が高まっています。

このような状況を踏まえ、平成15年に「公共建築の日」及び「公共建築月間」が創設されました。

鳥取県においても県民のみならず公共建築を身近に感じていただくため、今年度、普段ご覧いただきにくい県庁舎の免震層や県議会議場、知事公邸などを公開する見学イベントを開催いたします。多数のご参加をお待ちしています。



県庁職員が施設をご案内いたします。おなじみの県庁ですが、きっと新しい発見があると思います！

日程

日時：平成28年11月5日（土）10：00～12：00

集合場所：県庁本庁舎講堂（案内図参照⇒）

参加費用：無料

申し込み：事前申込不要

当日開始10分前に集合場所にご参集ください。

問合せ先：県庁総務部営繕課 ☎0857-26-7394

<https://www.pref.tottori.lg.jp/205391.htm>



見学場所紹介



本庁舎地下免震層

県庁本庁舎、講堂、議会棟、議会棟別館は平成23年11月に耐震工事が完了しました。本庁舎は免震レトロフィット補強を採用し、高い安全性を持たせて震災時でも防災拠点としての機能が果たせるように補強しました。

既存施設を有効利用し改修を行ったことで、経済的な公共建築の持続的保存改修の優れた実践であることが認められ、第15回公共建築賞優秀賞（H28.5.24）を受賞しました。

普段は公開していない、地下免震層の大空間にみなさまをご案内します。



知事公邸第一応接室

知事公邸は知事の自宅の他に賓客の応接・懇談、叙勲・表彰式等の各種式典、災害発生時の緊急災害対策拠点としての機能も兼ね備えております。各部屋には県産材や和紙など県産品をふんだんに使用すると共に、玄関スロープ、手摺り等を設置するなど高齢者等にやさしい造りとなっており、本県を代表するにふさわしい建物です。

また、鳥取市のシンボルである久松山が公邸内ロビーから眺望できるようになっています。



議会棟議場

県民の代表として選ばれた県議会議員が集まり、県の仕事について議論し、決定するところが議場です。

普段は観覧席しか入れませんが、見学会では実際に議場の下に降りていただきご案内します。



本庁舎モザイク壁画



県庁舎中庭

本庁舎脇にある前庭・中庭は作庭家、造園家の重森完途の設計の庭です。

鳥取県庁舎の他に長安寺大万丈前薬師寺三尊四十九燈の庭、島根県庁庭園、島根県立中央病院庭園なども手がけました。

本庁舎正面（西面）のモザイク壁画は洋画家の市村修の作品と言われています。

壁画は鳥取県を代表する大山や砂丘、日本海をモチーフとしています。